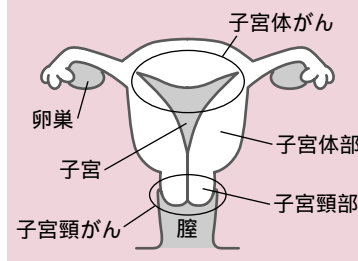


# 病院だより

## 子宮がん

子宮頸がんとは子宮体がん

子宮がんには、子宮頸がん（子宮の入り口）である子宮頸部にできる子宮頸部と子宮体がん（子宮の奥の子宮体部）にできる子宮体がんがあるのをご存じでしょうか。



子宮がんの約半数が、子宮体がん

以前は、子宮がんのうちの85%以上が子宮頸がんであったため、婦人科検診では子宮頸がんの検査を行ってきました。しかし、生活習慣の欧米化などに伴い現在では子宮がんのうちの約50%が子宮体がんとなっています。

初期症状は、ほとんどが無症状

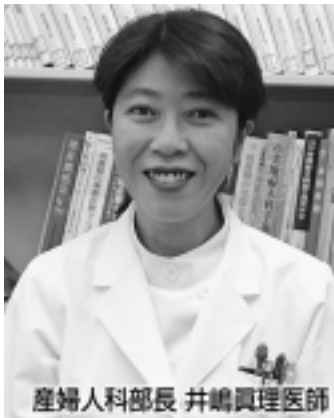
子宮がんは初期症状がなく、不正出血やおりものなどの症状が現れたらす

でに進行していることがほとんどです。だからこそ、定期的に検診や検査を受けることが大切なのです。

検診や検査を受けて早期発見を

現在行っている子宮がん検診では、子宮頸がんの検査のみのため、子宮体がんの検査は産婦人科を受診して初めて検査することができます。

産婦人科というと女性にとって受診しにくい場所かもしれませんが、年に1度は産婦人科で子宮体がん検査を受けましょう。



産婦人科部長 井嶋真理医師

問 市民病院医事課  
☎43-2511(代表)

# 国保ガイド

## 退職者医療制度への加入はお済みですか

医療の必要が高まる退職後に、会社の健康保険から国民健康保険（国保）に加入することにより、国保の医療費負担が増加します。このような医療保険制度間の負担を公平にするのが「退職者医療制度」です。

退職者医療対象者の医療費は、一般の国保加入者とは別に、勤めていた会社などの健康保険からの交付金でまかなわれています。

退職者医療制度に当てはまる方は、早めに手続きをしてください。退職者医療制度を適正に適用すると、市の国保が負担する医療費の増加を抑えることができます。

退職医療制度に当てはまる方が医療機関で支払う負担金の割合は、国保に加入している方と同じです。

対象 国保に加入し、老人保健医療の適用を受けていない方で、下の表に当てはまる方

持ち物 年金証書または裁定通知書（支給決定通知書）、認め印、保険証（すでに国保に加入している場合）、

健康保険の資格喪失証明書（新たに国保に加入する場合）

申請場所 市役所1階市民課国保年金係・支所1階市民サービス課窓口係

### <退職者医療制度に当てはまる方>

退職被保険者（本人）	被扶養者（家族）
・厚生年金、共済年金などの加入期間が20年以上または、40歳以降に10年以上加入していた方で、年金を支給されている方	・退職被保険者と同じ世帯で、退職者本人によって生計を維持し、年収が130万円未満（60歳以上の方は180万円未満）の方

問 市民課国保年金係

市民サービス課窓口係

☎ 44 3113  
23 9212

